

環境パフォーマンス、環境会計

Environmental Performance and Environmental Accounting

環境パフォーマンスデータ

当社グループにおける環境パフォーマンス

■ 適用範囲

対象範囲	当社グループの生産拠点（国内：9事業所、海外：14事業所）
温室効果ガス排出量に関する適用範囲	(1) スコープ1、2の適用範囲は、上記の対象範囲と同一です。 (2) スコープ3の適用範囲については、カテゴリごとに算定範囲を明示しています。
スコープ2に関する温室効果ガス排出量	(1) スコープ2排出量はマーケット基準[*]を用いて算出したCO₂排出量を開示しています。 (2) スコープ2排出量の算出における換算係数は次の公表値を使用しています。ただし、再生エネルギー由来電力の換算係数をゼロに設定しています。 国内：地球温暖化対策推進法に基づいて公表される各電力会社の年度ごとの係数 海外：IEA（国際エネルギー機関）が発行する「Emissions Factors」で公表される年度ごとの係数
備考	(1) CO₂以外の温室効果ガスについては、当社グループの事業活動との関連性が小さく、排出量が極端に少ないため、算定対象外としています。 (2) エネルギー使用量およびCO₂排出量は、第三者による検証を実施しています。 (3) すべてのデータは見直しを行った上で情報開示しています。

^{*}購入している電気の契約内容に基づいてスコープ2排出量を算出する手法（再生可能エネルギー調達量を考慮した算出方法）

■ 国別のCO₂排出量と水使用量（2024年度）

国	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	水使用量 (m ³)
日本	151,135	2,417,899
中国	1,944	9,371
台湾	15,273	85,298
ベトナム	7,187	163,149
マレーシア	970	12,501
インドネシア	55,709	288,759
タイ	26,407	643,646
トルコ	34,445	678,235
イギリス	4,450	74,163
アメリカ	7,635	41,076
オーストラリア	10,669	40,936
ハンガリー	164	478
合計	315,986	4,455,512

■ 生産拠点別のCO₂排出量と水使用量（2024年度）

国	生産拠点	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	水使用量 (m ³)
日本	株式会社 G S ユアサ（京都事業所、長田野事業所、群馬事業所、 栗東事業所、川越事業所）	115,740	1,348,122
	株式会社 G S ユアサ エナジー	26,522	841,557
	株式会社 G S ユアサ茨城	4,366	148,962
	株式会社 G S ユアサ モールディングス	2,801	39,677
	株式会社 G S ユアサ 安曇野	1,706	39,582
中国	杰士電池有限公司	1,944	9,371
台湾	台湾杰士電池工業股份有限公司	15,273	85,298
ベトナム	GS Battery Vietnam Co., Ltd.	7,187	163,149
マレーシア	GS Yuasa Battery Malaysia Sdn. Bhd.	970	12,501
インドネシア	PT. Trimitra Baterai Prakasa	27,408	120,349
	PT. Yuasa Battery Indonesia	28,301	168,410
タイ	Siam GS Battery Co., Ltd.	14,019	438,368
	Yuasa Battery (Thailand) Pub. Co., Ltd.	7,300	155,557
	GS Yuasa Siam Industry Ltd.	5,087	49,721
トルコ	Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketi	34,445	678,235
イギリス	GS Yuasa Battery Manufacturing UK Limited	4,450	74,163
アメリカ	Yuasa Battery, Inc.	7,635	41,076
オーストラリア	Century Yuasa Batteries Pty. Limited	10,669	40,936
ハンガリー	GS Yuasa Hungary Ltd.	164	478

■ スコープ1、2排出量の推移（単位：t-CO₂）

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
スコープ1排出量	63,867	67,085	64,841	57,838	58,153
スコープ2排出量	284,985	285,785	249,204	270,299	257,833
合計	348,852	352,870	314,046	328,138	315,986

■ スコープ3排出量（2024年度）

No.	カテゴリ	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	算定範囲
1	購入した製品・サービス	940,714	（株）G S ユアサ（製品の製造に直接関連する物品）
2	資本財	160,843	当社グループ
3	Scope1、2に含まれない燃料及び エネルギー関連活動	60,434	当社グループの生産拠点（国内：9事業所、海外：14事業所）
4	輸送、配送（上流）	7,979	（株）G S ユアサ（特定荷主 [*] に係る貨物輸送に限定）
5	事業から出る廃棄物	1,408	国内生産拠点（9事業所）
6	出張	881	国内生産拠点（9事業所）
7	雇用者の通勤	2,562	国内生産拠点（9事業所）
12	販売した製品の廃棄	18,412	（株）G S ユアサ（製造した鉛蓄電池の廃棄）
合計		1,193,233	

^{*}エネルギーの使用の合理化などに関する法律に基づく年間貨物輸送量が3千万トンキロを超える荷主

■ 取水量の推移（単位：m³）

水源	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
工業用水（第三者の水）	2,412,307	2,259,858	2,129,786	2,101,644	2,111,376
地下水	1,530,950	1,507,990	1,440,132	1,536,266	1,544,434
上水（第三者の水）	789,858	832,153	795,278	790,963	799,702
合計	4,733,116	4,600,001	4,365,196	4,428,873	4,455,512

* 本表以外の水源からの取水はありません。

■ 排水量の推移（単位：m³）

放流先	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
河川	1,964,975	1,843,706	1,741,475	1,793,963	1,898,020
下水道	1,935,404	1,880,884	1,702,239	1,710,687	1,691,371
合計	3,900,379	3,724,591	3,443,714	3,504,651	3,589,391

* 事業所から海洋や事業所外の水処理施設への放流はありません。

■ 環境配慮製品の販売比率

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
34.8%	36.5%	36.4%	38.7%	36.7%

■ 鉛蓄電池の鉛原材料に占める再生鉛使用量の比率

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
54.6%	63.3%	56.5%	65.7%	72.4%

国内事業所における環境パフォーマンス

■ 適用範囲

対象範囲

国内9事業所：（株）GSユアサ（京都事業所、長田野事業所、群馬事業所、栗東事業所、川越事業所）、（株）GSユアサ エナジー、（株）GSユアサ茨城、（株）GSユアサモールドイングス、（株）GSユアサ安曇野

スコープ2に関する温室効果ガス排出量

- （1）スコープ2排出量はマーケット基準^{*}によって算出したCO₂排出量を開示しています。
- （2）スコープ2排出量の算定においては、地球温暖化対策推進法に基づいて公表される各電力会社の年度ごとの係数を使用しています。ただし、再エネ由来電力の換算係数はゼロに設定しています。

備考

- （1）輸送に係る環境パフォーマンスは（株）GSユアサの実績値です。
- （2）エネルギー使用量およびCO₂排出量は、第三者による検証を実施しています。
- （3）すべてのデータは見直しを行った上で情報開示しています。

* 購入している電気の契約内容に基づいてスコープ2排出量を算出する手法

■ 環境パフォーマンスデータ（2024年度）

区分	製品ライフサイクル	項目	単位	実績	内容	内訳	備考
INPUT	製造	主要材料使用量	t	198,821	新規材料	101,702	鉛、硫酸、プラスチックなど
					再生材料	97,119	
		水使用量	m³	2,417,899	工業用水	1,082,991	第三者の水
					地下水	1,032,999	
					上水	301,909	第三者の水
		エネルギー使用量（原油換算）	kL	84,196	電気	70,104	
					都市ガス	10,913	
					液化石油ガス	3,016	
					灯油、揮発油、軽油	163	
	輸送	エネルギー使用量（原油換算）	kL	3,014	揮発油、軽油	3,014	貨物輸送量に基づくエネルギー使用量
OUTPUT	製造	廃棄物排出量	t	15,640	産業用電池、電源装置	4,944	
					廃極板、廃電池、廃ペースト	4,873	
					金属屑	489	
					リチウムイオン電池	4,412	
					紙屑、生ごみ	1,055	
					汚泥	1,134	
					廃酸、廃アルカリ	1,063	
					廃プラスチック	1,088	(株)GSユアサにおける排出量:508t
					木屑	558	
					その他	968	
		再資源化量（廃棄物）	t	15,079	廃極板、廃電池、廃ペースト	4,873	
					金属屑	480	
					リチウムイオン電池	4,412	
					紙屑、生ごみ	970	
					汚泥	1,013	
					廃酸、廃アルカリ	976	
					廃プラスチック	972	
					木屑	489	
					その他	893	
		最終処分量（廃棄物）	t	561	廃極板、廃電池、廃ペースト	0	
					金属屑	8	
					リチウムイオン電池	0	
					紙屑、生ごみ	85	
					汚泥	121	
					廃酸、廃アルカリ	87	
					廃プラスチック	117	
					木屑	69	
					その他	75	
		排水量	m³	2,024,785	公共用水域	1,198,111	河川
					下水道	826,675	
		CO ₂ 排出量	t-CO ₂	151,135	電気	122,008	スコープ2排出量
					都市ガス	21,709	スコープ1排出量
					液化石油ガス	6,984	
					灯油、揮発油、軽油	434	
	輸送	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	7,979		7,979	スコープ3排出量（カテゴリ4）
	廃棄	再資源化量（使用済み製品）	t	4,093		4,093	
		最終処分量（使用済み製品）	t	851		851	

■ 水質・水量の認可・基準・規則に関する違反状況（2024年度）

項目	罰則を伴う法令違反件数	行政処分件数
取水	0	0
排水	0	0

■ 環境パフォーマンス推移データ

区分	項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
INPUT	主要材料使用量	t	186,225	188,020	186,298	193,473	198,821
	水使用量	m ³	2,455,407	2,348,351	2,256,768	2,380,824	2,417,899
	生産におけるエネルギー使用量（原油換算）	kL	96,772	98,869	99,872	100,758	84,196
	物流におけるエネルギー使用量（原油換算）	kL	3,409	3,598	3,302	3,040	3,014
	使用済み製品の回収量	t	5,006	4,773	4,573	4,515	4,944
OUTPUT	再資源化量（廃棄物）	t	11,126	12,083	12,625	13,634	15,079
	最終処分量（廃棄物）	t	598	504	633	625	561
	排水量	m ³	2,171,530	2,020,468	1,960,932	2,034,434	2,024,785
	生産におけるCO ₂ 排出量	t-CO ₂	146,888	134,505	109,634	133,325	151,135
	物流におけるCO ₂ 排出量	t-CO ₂	8,953	9,484	8,702	8,039	7,979
	再資源化量（使用済み製品）	t	4,156	3,952	3,782	3,733	4,093
	最終処分量（使用済み製品）	t	850	822	791	782	851

■ 主要原材料消費量の推移

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
鉛	t	139,299	139,669	134,251	139,087	143,162
硫酸	t	30,189	30,899	29,286	29,193	30,698
プラスチック	t	13,800	13,351	13,493	14,591	13,193

■ PRTR法対象物質の排出移動状況（単位：kg）

PRTR法対象物質	事業所	大気 への排出	公共用水域 への排出	下水道 への移動	当該事業所 の 外への移動	合計
鉛化合物*	京都	150.0	0.0	5.1	13,000.0	13,155.1
	長田野	46.0	0.0	6.0	1,100.0	1,152.0
	群馬	29.0	3.8	0.0	200.0	232.8
	G S ユアサ エナジー	9.0	2.7	0.0	2,800.0	2811.7
	G S ユアサ茨城	8.0	6.1	0.0	30.0	44.1
	G S ユアサ安曇野	6.9	0.0	0.0	11.0	17.9
砒素および その無機化合物*	京都	2.4	0.0	0.4	3.3	6.1
	群馬	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5
	G S ユアサ エナジー	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6
アンチモンおよび その化合物	京都	0.0	5.1	0.4	1.2	6.7
	長田野	0.0	0.0	1.8	0.0	1.8
	群馬	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9
	G S ユアサ エナジー	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5
マンガンおよび その化合物	京都	0.0	0.0	0.0	1,900.0	1,900.0
	長田野	8.8	0.0	0.0	0.2	9.0
	栗東	0.0	0.0	0.0	1,900.0	1,900.0
ニッケル化合物*	京都	0.0	0.0	0.0	4,500.0	4,500.0
	長田野	2.9	0.0	0.0	0.3	3.2
	栗東	0.0	0.0	0.0	2,800.0	2,800.0
コバルトおよび その化合物	京都	0.0	0.0	0.0	1,600.4	1,600.4
	長田野	0.2	0.0	0.0	0.2	0.4
	栗東	0.0	0.0	0.0	1,100.0	1,100.0
塩化メチレン （ジクロロメタン）	G S ユアサ茨城	1,900.0	0.0	0.0	50.0	1,950.0
N,N-ジメチルホルムアミド	G S ユアサ モールディングス	2.0	0.0	400.0	1,500.0	1,902.0
ほう素化合物	長田野	2.5	0.0	0.0	1,000.0	1,002.5
N-メチル-2=ピロリドン	京都	7,300.0	0.0	0.0	2,748.0	10,048.0
	長田野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	栗東	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ジエタノールアミン	長田野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

*特定第1種指定化学物質製造

環境会計

■ 集計基準

対象組織

国内9事業所（（株）G S ユアサ（京都、長田野、群馬、栗東、川越）、（株）G S ユアサ エナジー、（株）G S ユアサ茨城、（株）G S ユアサ安曇野、（株）G S ユアサモールディングス）
ただし、事業エリア内コストのうち環境に関する設備のコストは構内関連企業の実績を含んでいません。

対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日

参考

環境会計ガイドライン2005年版（環境省発刊）

■ 環境保全コスト（事業活動に応じた分類）

分類		主な取り組みの内容	合計 (千円)
事業エリア内コスト（合計）			2,044,637
内訳	①公害防止コスト	大気汚染防止に関する活動	483,441
		水質汚濁防止に関する活動	1,026,783
	②地球環境保全コスト	温暖化ガス排出削減に関する活動	196,904
	③資源循環コスト	廃棄物の適正処理に関する活動	337,510
上・下流コスト ^{*1}		環境負荷低減のための追加的活動	18
管理活動コスト ^{*2}		社員教育・ISO 14001維持管理活動	4,480
研究開発コスト		環境に配慮した研究開発活動	8,948,000
社会活動コスト		環境に関するボランティア活動	5,130
環境損傷対応コスト		土壌汚染対策に関する活動	4,890
合計			11,007,154

■ 環境保全対策に伴う経済効果

分類	主な項目	金額 (千円)
水使用効率化に伴う経済効果	水使用量、排水量の削減金額 ^{*3}	2,894
省エネルギー効果	電気・重油・ガス（都市ガス・LNG・LPG）の削減金額 ^{*3}	-325,689
廃棄物削減効果	産業廃棄物の処理費用削減金額 ^{*3}	-19,816
再資源化効果	廃棄物の再資源化・再利用に貢献した金額	621,389

■ 環境保全効果

分類	主な項目	物量	単位
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	再生水使用量	1,127,418	m ³
	水使用削減量 ^{*3}	-37,076	m ³
	エネルギー削減量（原油換算） ^{*3}	16,562	kL
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 削減量 ^{*3}	-17,810	t-CO ₂
	排出廃棄物削減量（最終処分量） ^{*3}	64	t
	排水削減量 ^{*3}	9,649	m ³
	排出廃棄物のリサイクル量	15,079	t
	リサイクル率 ^{*4}	96	%
	[水質] 排出鉛量	24	kg
	[大気] 排出鉛量	249	kg

^{*1} 上・下流コストには、コンサルタント費用と容器包装リサイクル法による再商品化委託料を集計しています。

^{*2} 管理活動コストには、社員教育・ISO 14001の維持管理費用のほか、情報開示に関する費用を含んでいます。

^{*3} 前年度に対する削減値（マイナス値は増加値）を表しています。

^{*4} リサイクル率＝（リサイクル量／廃棄物排出量）×100